

PRESS RELEASE

2013年7月4日

株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、損保ジャパングループの社内システム共通基盤をクラウドサービスで構築

--業界で初めてクラウド上に基幹システムを移行し、グループ全体のITガバナンスを強化--

株式会社インターネットイニシアティブ(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部、以下 IIJ)は、国内損害保険事業を中心に幅広い事業を展開する株式会社損害保険ジャパン(本社:東京都新宿区、取締役社長:櫻田 謙悟、以下損保ジャパン)グループ各社(以下、各グループ会社)共通の業務システム基盤を、「IIJ GIO(ジオ)コンポーネントサービス 仮想化プラットフォーム VW シリーズ(以下、IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズ)」で構築しました。2013年2月よりシステムの移行を開始し、順次、各グループ会社への展開を進めています。

損保ジャパングループは、これまで各グループ会社が個別にシステムを構築しておりましたが、各グループ会社で同一システムを利用する場合のネットワークの複雑化や費用の増大を回避し、事業継続性の確保やセキュリティレベルの平準化を目的として、このたび社内システム共通基盤をクラウドサービスで構築することを検討し、IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズの導入を決定しました。これにより、自社で構築するよりも大幅なコスト削減を実現できるほか、セキュリティ、ITガバナンスおよびコスト削減の点から損保ジャパングループのシステム戦略の実行性が向上します。また、自社でアセットを持たず、クラウド上に各グループ会社の基幹業務システムを移行することは、損保業界初の先進的な取り組みとなります。

業種が多岐にわたる各グループ会社では、必要な業務システムも様々です。IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズでは、お客様側でクラウド基盤上に自由にシステムを設計・構築できるため、各グループ会社での円滑なシステム移行が可能になることも、IIJ を選定いただいた大きなポイントです。

また、損保ジャパン様では既に IIJ のセキュリティサービスをご利用いただいております。サービス品質、システムの信頼性も高く評価いただいております。

IIJ では今後とも、企業システムの多様な要件を満たす最適なソリューションを積極的に提供してまいります。

【IIJ GIO コンポーネントサービス 仮想化プラットフォーム VW シリーズについて】

IIJ GIO 仮想化プラットフォーム VW シリーズは、IIJ のクラウドサービス「IIJ GIO」上に、お客様専用の VMware 仮想化環境を提供するサービスです。仮想基盤上の OS やアプリケーションはお客様が自由に設計、構築できるため、お客様は個別にサーバやストレージを購入することなく、業務環境や要件に合ったシステムをクラウド上に構築することができます。詳細は以下の Web サイトをご参照ください。

<http://www.ij.ad.jp/GIO/service/vw/>

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、村松

TEL: 03-5259-6310 FAX: 03-5259-6311

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>